

## サルビア号再編計画



平成 24 年 3 月

— 目次 —

頁

1. はじめに .....	1
2. 現在のサルビア号と再編後のサルビア号との比較 .....	2
3. サルビア号再編案 .....	3
(1) 概要 .....	3
(2) 市街地部における定時定路線型の運行方法 .....	4
(3) 郊外部における予約型の運行方法 .....	5
(4) 有料化の予定 .....	7
4. 社会情勢や交通状況の変化に対応した継続的な見直し .....	8
参考. これまでの検討概要 .....	9
(1) これまでの検討の経緯 .....	9
(2) 現在運行しているサルビア号の現状と課題 .....	10

## 1. はじめに

福崎町では、各集落を巡回して役場・文化センター等公共施設をつなぐコミュニティバス（サルビア号）を無料で運行し一定の成果を上げていますが、高齢化の進行や環境への負荷低減、また厳しい財政状況などからすれば今後のコミュニティ交通のより効率的な運営方針や、導入地域・運行方法の効果的な選択が望まれています。

このようなことから、平成 22 年度から福崎町地域公共交通会議の審議のもと、アンケート調査結果等から福崎町の交通をとりまく現状と課題を整理し、町民が利用しやすい公共交通環境を整え生活交通の確保を確実に実行し、かつ継続していくために、「サルビア号再編計画」を策定しました。

## 2. 現在のサルビア号と再編後のサルビア号との比較

		再編後のサルビア号	現在のサルビア号
運 行 概 要	運行方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地部と郊外部に分け、それぞれ車両1台ずつで運行(車両<b>2台</b>)</li> <li>・市街地部⇄郊外部の移動は乗り換えが必要&lt;市街地部&gt;</li> <li>・あらかじめ決められた時刻とルートを車両(ワゴン車または小型バス)1台で運行(<b>定時定路線型</b>)</li> <li>&lt;郊外部&gt;</li> <li>・事前に電話予約が必要(<b>予約型</b>)</li> <li>・バス停を設定して、バス停間または市街地部のバスとの乗り換え拠点まで予約に応じて車両(ワゴン車)1台で運行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両(小型バス)<b>1台</b>で運行</li> <li>・各集落を巡回して、役場・文化センター・図書館・文珠荘等の公共施設をつなぐルート</li> <li>・路線バスと同様に、あらかじめ決められた時刻とルートを運行(<b>定時定路線型</b>)</li> </ul>
	運行回数	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;市街地部&gt;</li> <li>・毎日、<b>1日8便程度</b>(午前4便・午後4便)運行</li> <li>&lt;郊外部&gt;</li> <li>・川西は奇数日、川東は偶数日の隔日運行</li> <li>・運行日当たり<b>1日4便程度</b>(午前2便・午後2便)運行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川西は奇数日、川東は偶数日の隔日運行(市街地内は毎日運行)</li> <li>・運行日当たり<b>1日2便</b>運行</li> </ul>
	バス停	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郊外部はワゴン車が通行できる集落内の道路に<b>現在の2倍程度</b>を設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小型バスが通行できる幹線道路に設置</li> </ul>
	利用料金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>原則有料化</b>【片道100円(乗り継いでも100円)】</li> <li>※ ただし、現金支払いだけでなく定期券、<b>高齢者等への優遇措置</b>なども検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>無料</b>で運行</li> </ul>
年間運行経費	1,500万円～1,600万円程度	約1,100万円	
メリット(良い点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地部、郊外部とも運行本数が現在の<b>2倍程度</b>となる</li> <li>・郊外部は迂回が少ない</li> <li>・郊外部はバス停まで近くなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗り換える必要がない</li> <li>・予約がいらない</li> </ul>	
デメリット(悪い点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>有料</b>になる</li> <li>・市街地部⇄郊外部の移動は乗り換えが必要になる</li> <li>・郊外部は電話予約が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各集落間をまわるので迂回が大きい</li> <li>・バス停までが遠い</li> <li>・1日2便しかなく、運行本数が少ない</li> </ul>	

● サルビア号の再編は、平成24年10月以降に運行準備が整った時点で再編する予定です

### 3. サルビア号再編案

#### (1) 概要

##### 【全域】

- ・市街地部と郊外部に分けて運行します。
- ・運行日は月曜日～土曜日とします。(郊外部の川西地区は奇数日、川東地区は偶数日の運行)
- ・日曜日、祝祭日、年末年始(4日間)は運休とします。

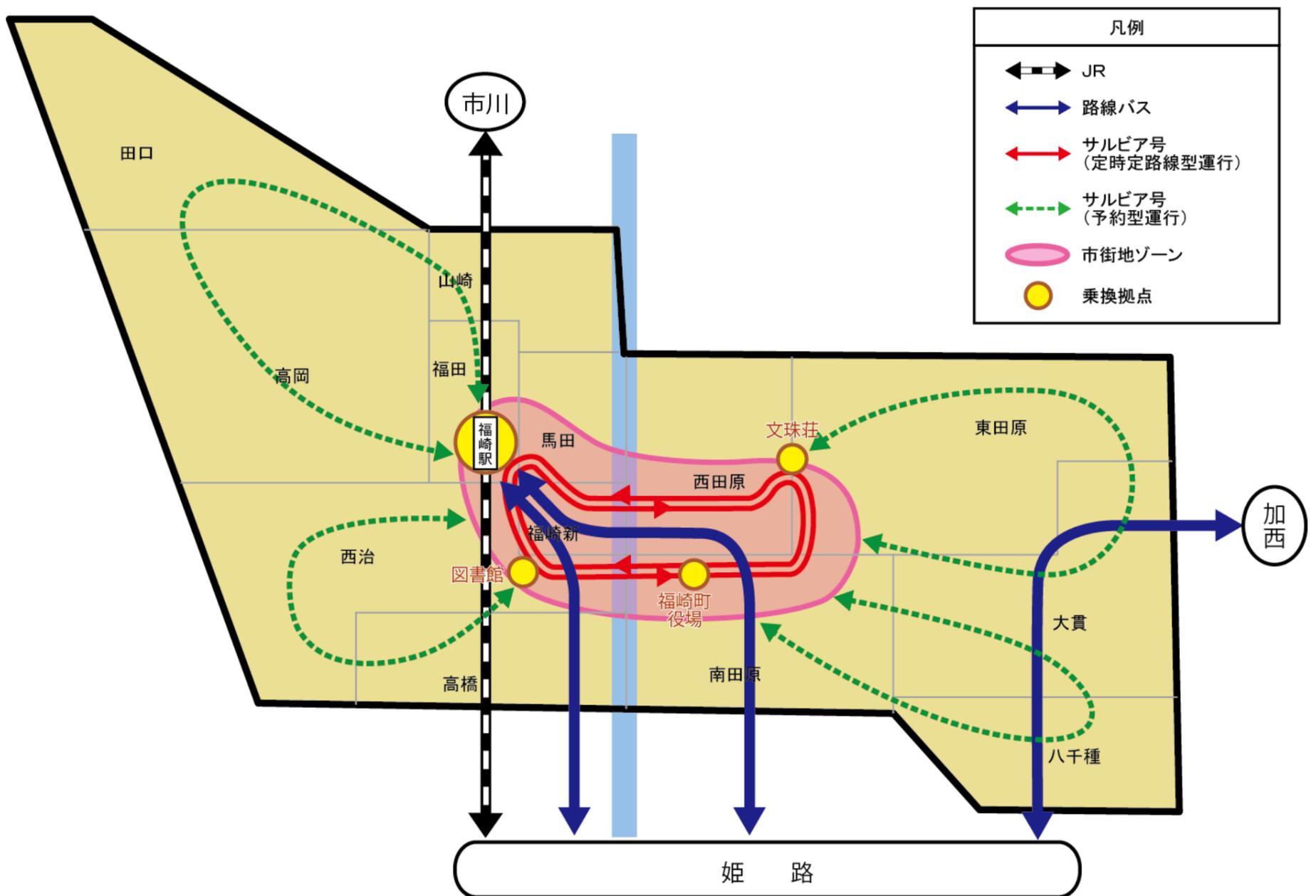
##### 【市街地部】 定時定路線型運行(予約不要) 4ページの図を参照

- あらかじめ定められた路線を定められた時間に運行します。
- ・ワゴン車(または小型バス)1台で「福崎駅」「図書館」「福崎町役場」「文珠荘」などおよそ25か所のバス停を循環するルートに再編します。
  - ・運行日は月曜日～土曜日とします。
  - ・右回りと左回りのルートを設定します。
  - ・1日8便程度(午前4便・午後4便:8時台～17時台の毎時間1便程度)の運行とします。
  - ・市街地部から郊外部への移動の際は、乗換え拠点で乗り換えていただきます。

##### 【郊外部】 予約型運行(予約が必要です) 5ページの図を参照

- 仮ルートと仮ダイヤ、バス停を設定します。予約に応じてバス停間を運行します。
- ・利用者には事前に電話予約をしていただきます。
  - ・郊外部を川西で2地区、川東で2地区の計4地区に運行エリアを分け、各運行エリア内または乗換え拠点のおよそ10～30か所のバス停間を予約に応じてワゴン車1台で運行します。
  - ・運行日は川西地区を奇数日、川東地区を偶数日とします。
  - ・郊外部の4地区とも、運行日当たり1日4便程度(午前2便・午後2便:8時台～17時台の2時間に1便程度)の仮ダイヤを設定する予定です。
  - ・郊外部から、午前中に市街地に出かけて、午後に帰宅することができます。
  - ・郊外部から市街地部の移動の際は、乗換え拠点で乗り換えていただきます。
  - ・乗り換えがスムーズに行えるダイヤを設定します。
  - ・乗換え拠点には待合いベンチを設置します。

< サルビア号再編方針イメージ >



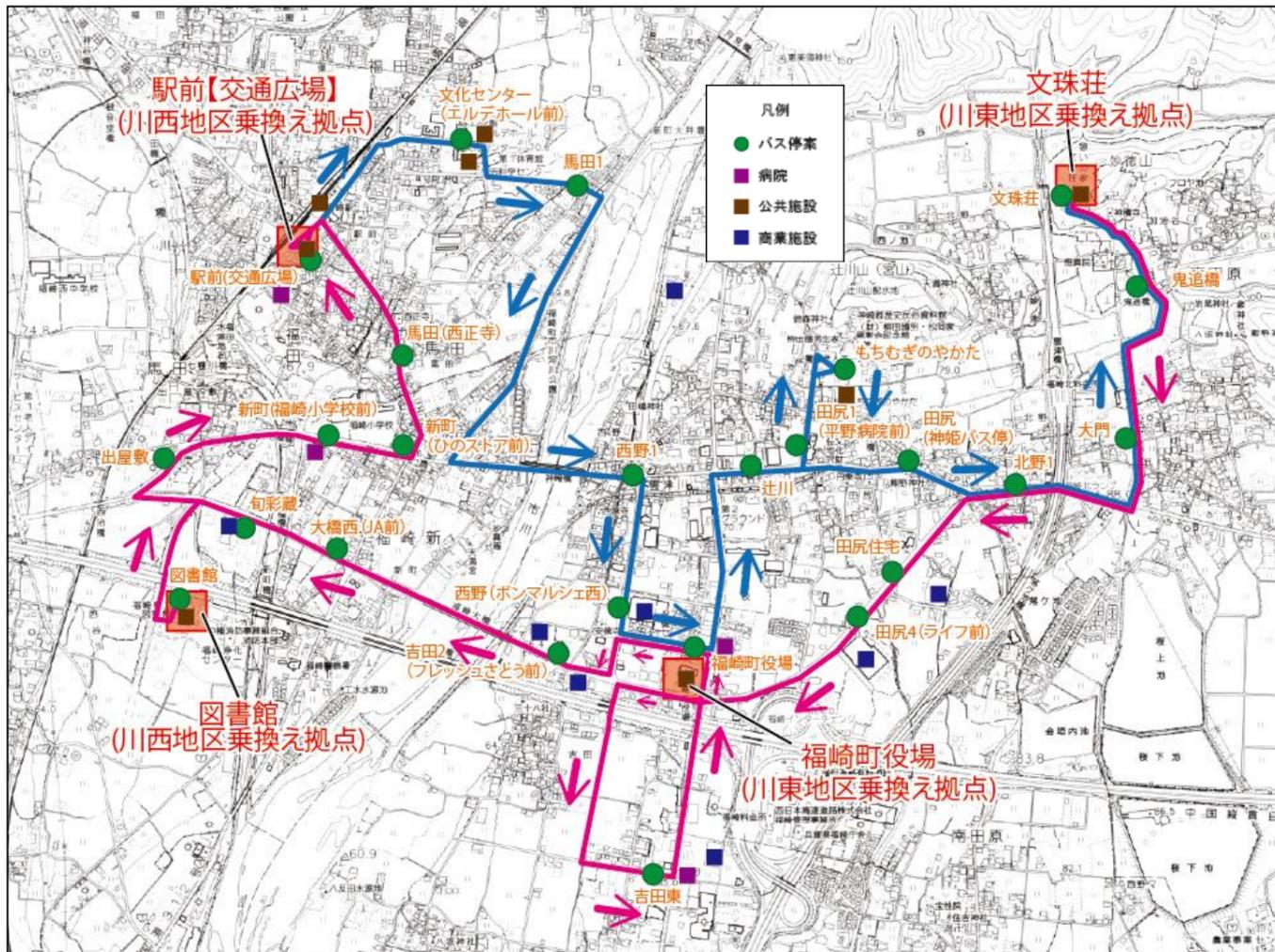
(2) 市街地部における定時定路線型の運行方法

【運行概要】

あらかじめ定められた路線を定められた時間に運行します。

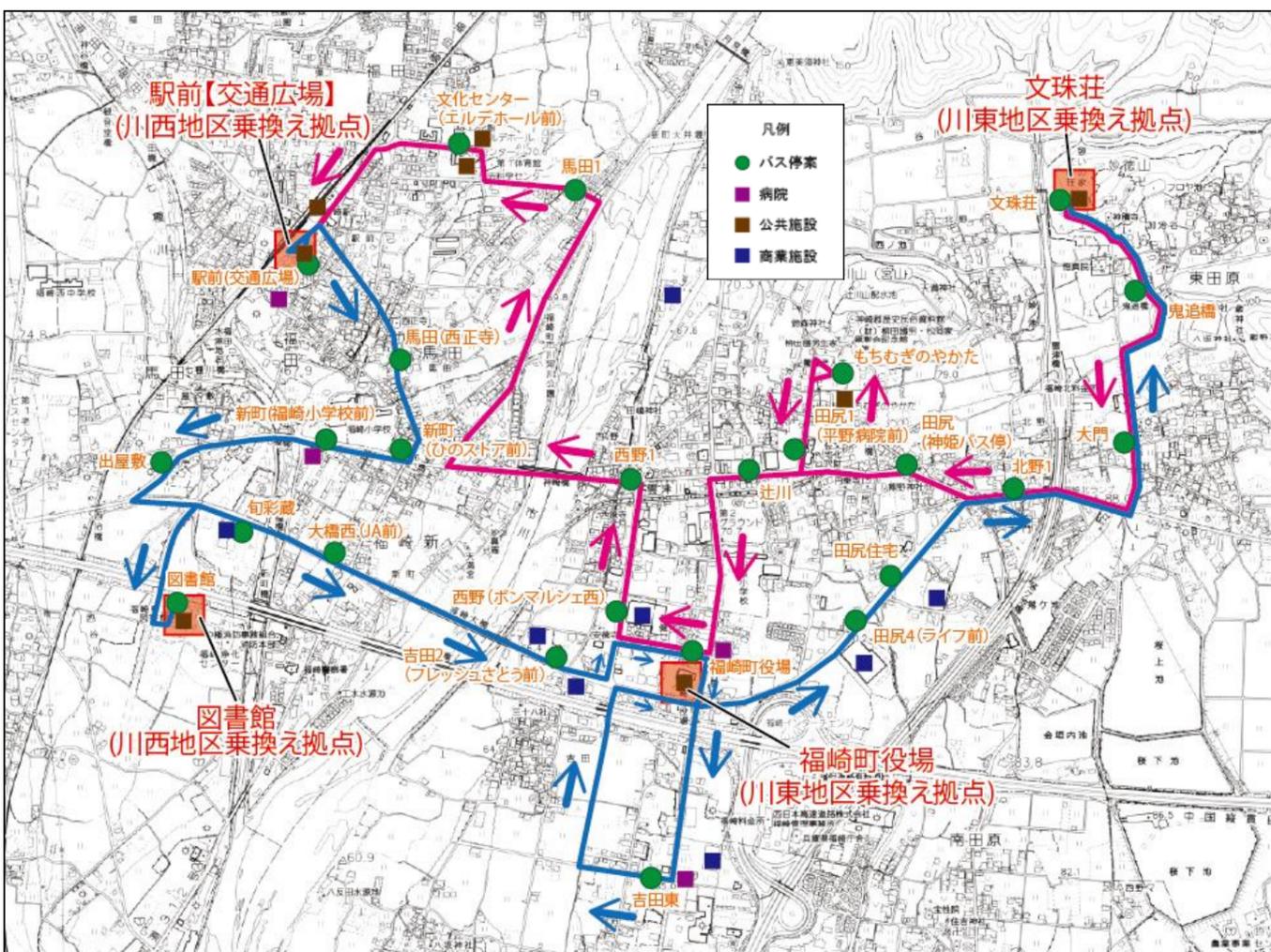
- ・ワゴン車（または小型バス）1台で「福崎駅」「図書館」「福崎町役場」「文珠荘」などおよそ25か所のバス停を循環するルートに再編します。
- ・運行日は月曜日～土曜日とします。（日曜日、祝祭日、年末年始（4日間）は運休）
- ・右回りと左回りのルートを設定します。
- ・1日8便程度（午前4便・午後4便：8時台～17時台の毎時間1便程度）の運行とします。
- ・郊外部から市街地部の移動の際は、乗換え拠点で乗り換えていただきます。
- ・福崎駅前では、JRや路線バスとの乗り換えを考慮したダイヤを設定します。

< 市街地部バス停及び運行ルート案（右回り） >



※運行ルートやバス停は平成24年3月時点の案であり、今後の検討等により変更する可能性があります。

< 市街地部バス停及び運行ルート案（左回り） >



※運行ルートやバス停は平成24年3月時点の案であり、今後の検討等により変更する可能性があります。

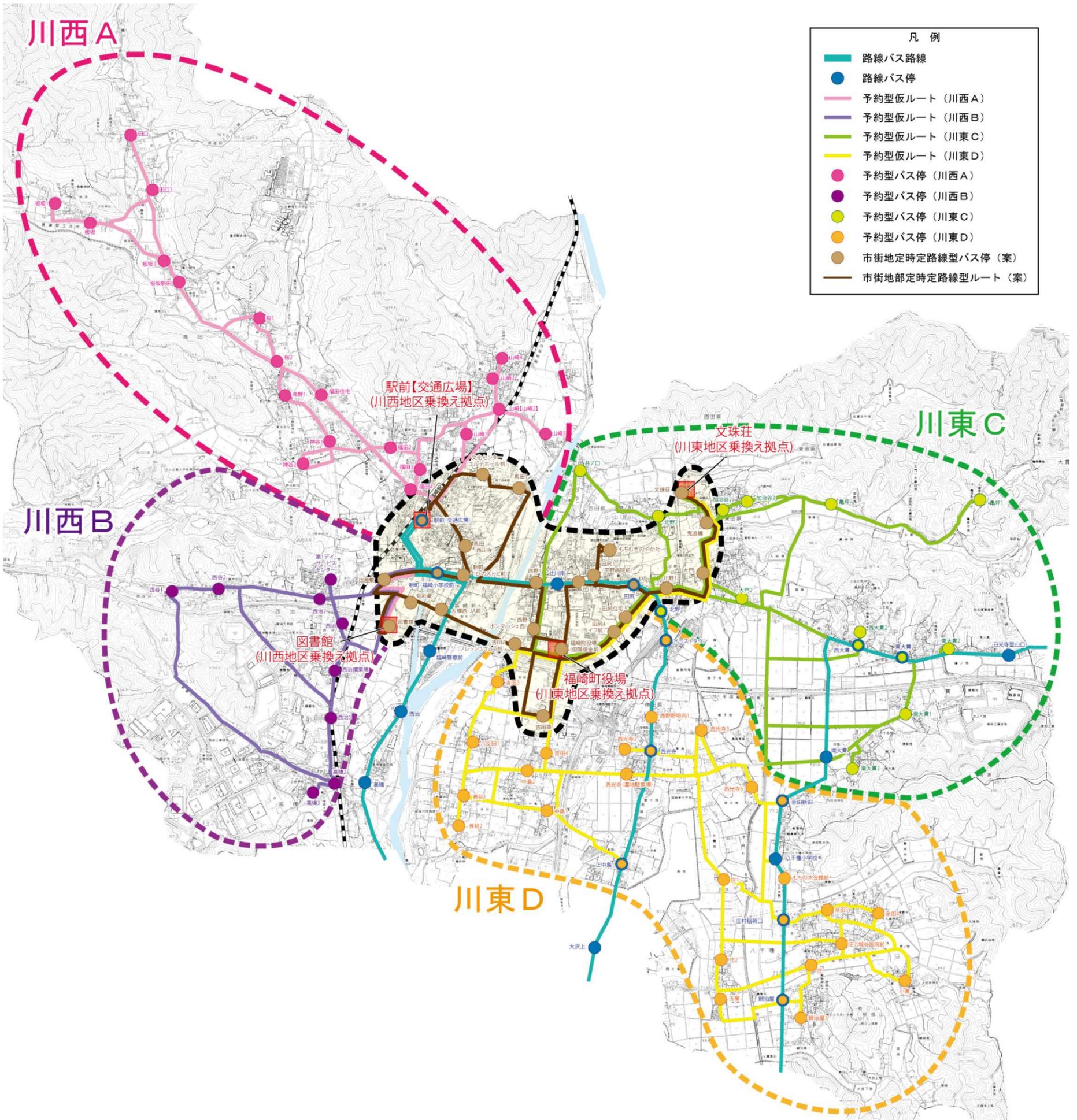
(3) 郊外部における予約型の運行方法

【運行概要】

仮ルートと仮ダイヤ、バス停を設定します。予約に応じてバス停間を運行します。

- ・利用者には事前に電話予約をしていただきます。
- ・郊外部を川西で2地区、川東で2地区の計4地区に運行エリアを分け、各運行エリア内または乗換え拠点のおよそ10~30か所のバス停間を予約に応じてワゴン車1台で運行します。
- ・運行日は川西地区を奇数日、川東地区を偶数日に運行します。(日曜日、祝祭日、年末年始(4日間)は運休)
- ・郊外部の4地区とも、運行日当たり1日4便程度(午前2便・午後2便:8時台~17時台の2時間に1便程度)の仮ダイヤを設定する予定です。
- ・郊外部から、午前中に市街地に出かけて、午後に帰宅することができます。
- ・郊外部から市街地部の移動の際は、乗換え拠点で乗り換えていただきます。その際は、乗り換えがスムーズに行えるダイヤを設定します。
- ・また、JRや路線バスとの乗り換えも考慮してダイヤを設定します。
- ・乗換え拠点には待合いベンチを設置します。

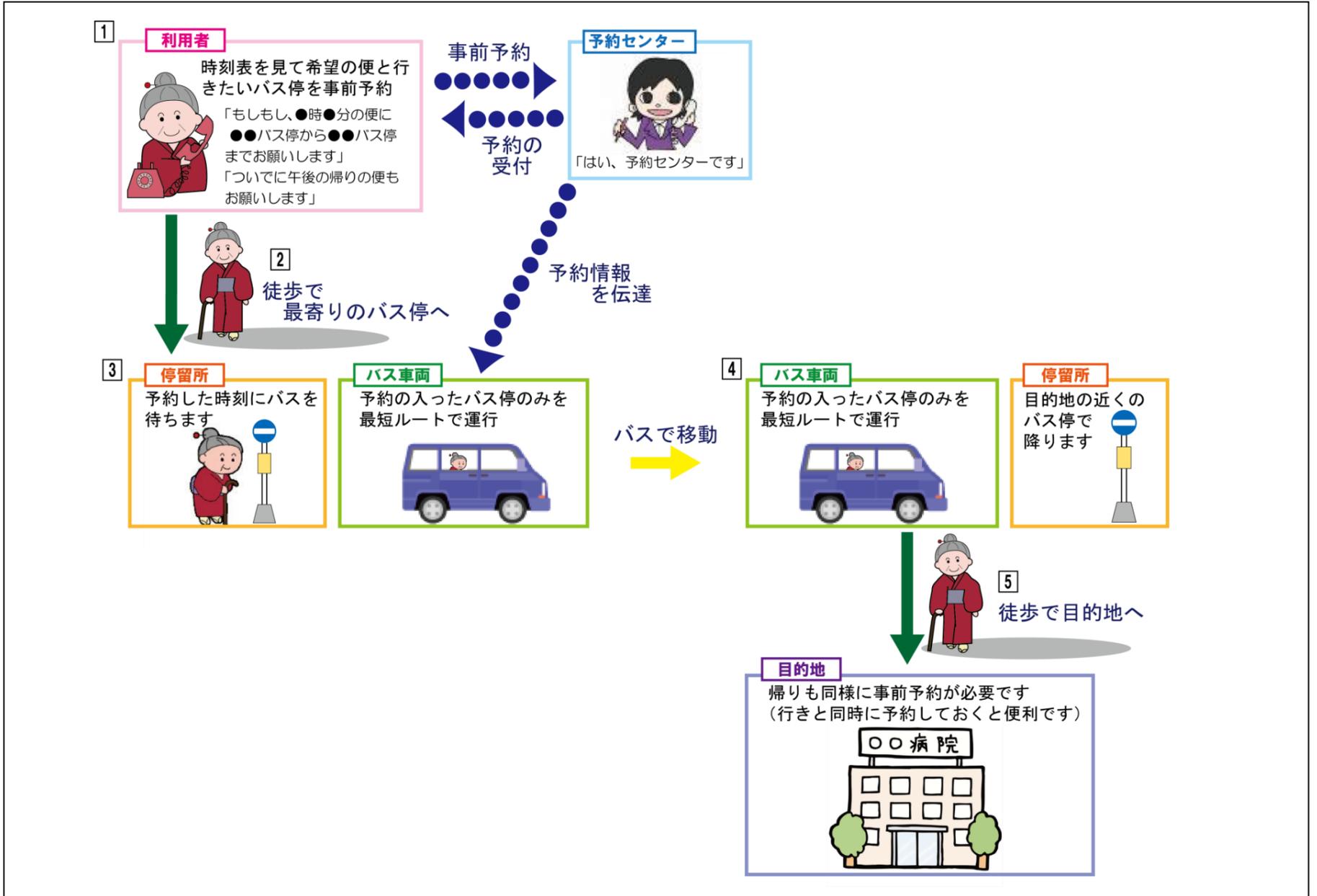
< 郊外部バス停及び仮ルート案 >



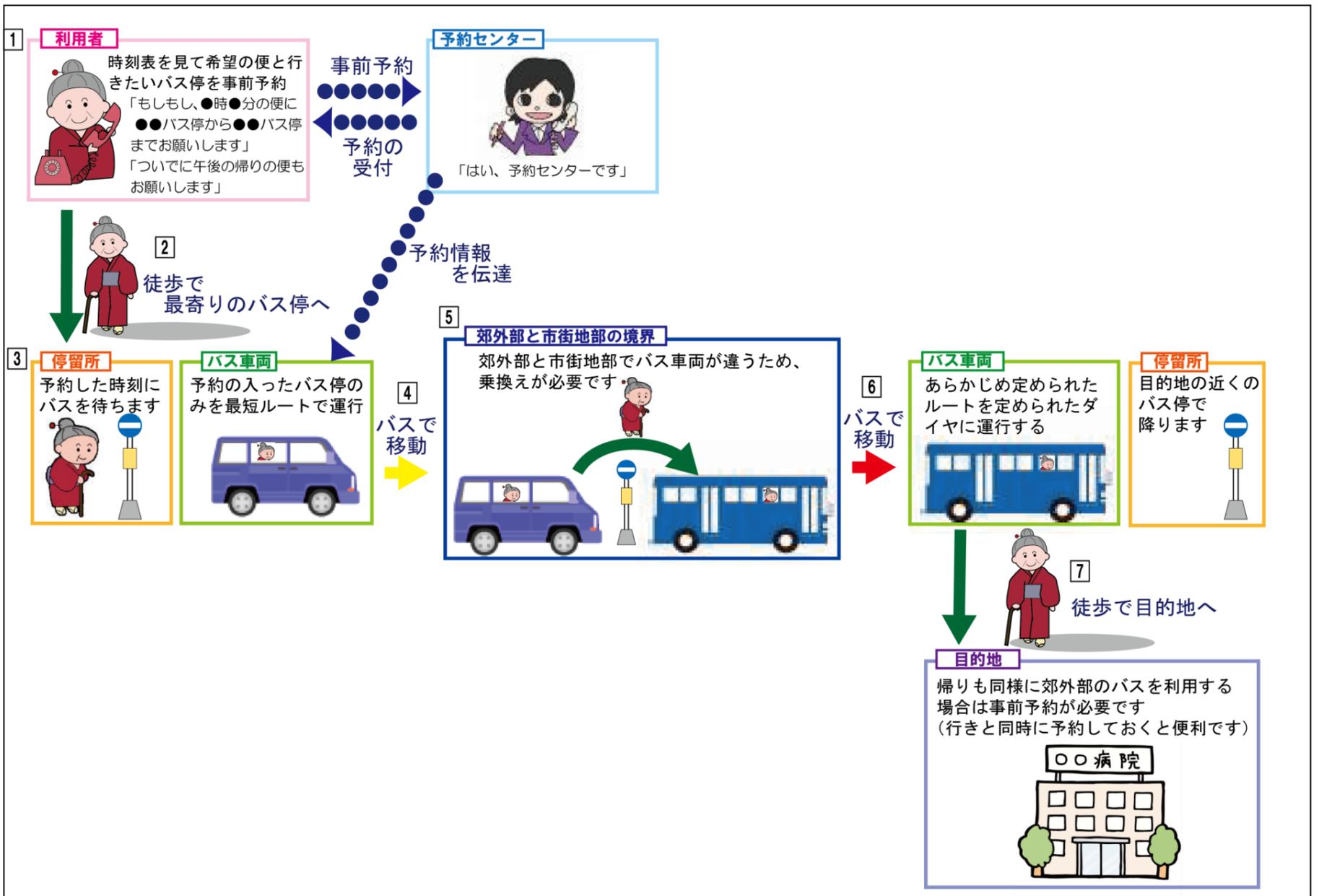
※運行ルートやバス停は平成24年3月時点の案であり、今後の検討等により変更する可能性があります。

【郊外部における予約型運行の利用方法】

< 郊外部から郊外部（同じ地区内）の目的地まで >



< 郊外部から市街地部の目的地まで >

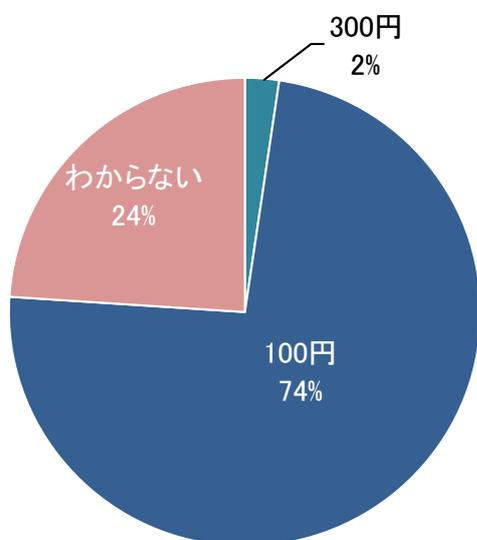


(4) 有料化の予定

- ・サルビア号再編後は、片道 100 円（乗り継いでもあわせて 100 円）の有料にする予定です。
- ・ただし、現金支払いだけでなく定期券、回数券、無料乗車券なども検討していきます。

＜ 有料化した場合、いくらまでなら

サルビア号を利用しますか ＞



・この調査では、有料化した場合でも、ミニデサービス参加者の4分の3以上の方が100円までなら、サルビア号を利用すると回答されています。

回答者数計 601 人

出典：ミニデイ「サルビア号意向調査」結果  
(平成 23 年 10 月～12 月実施)

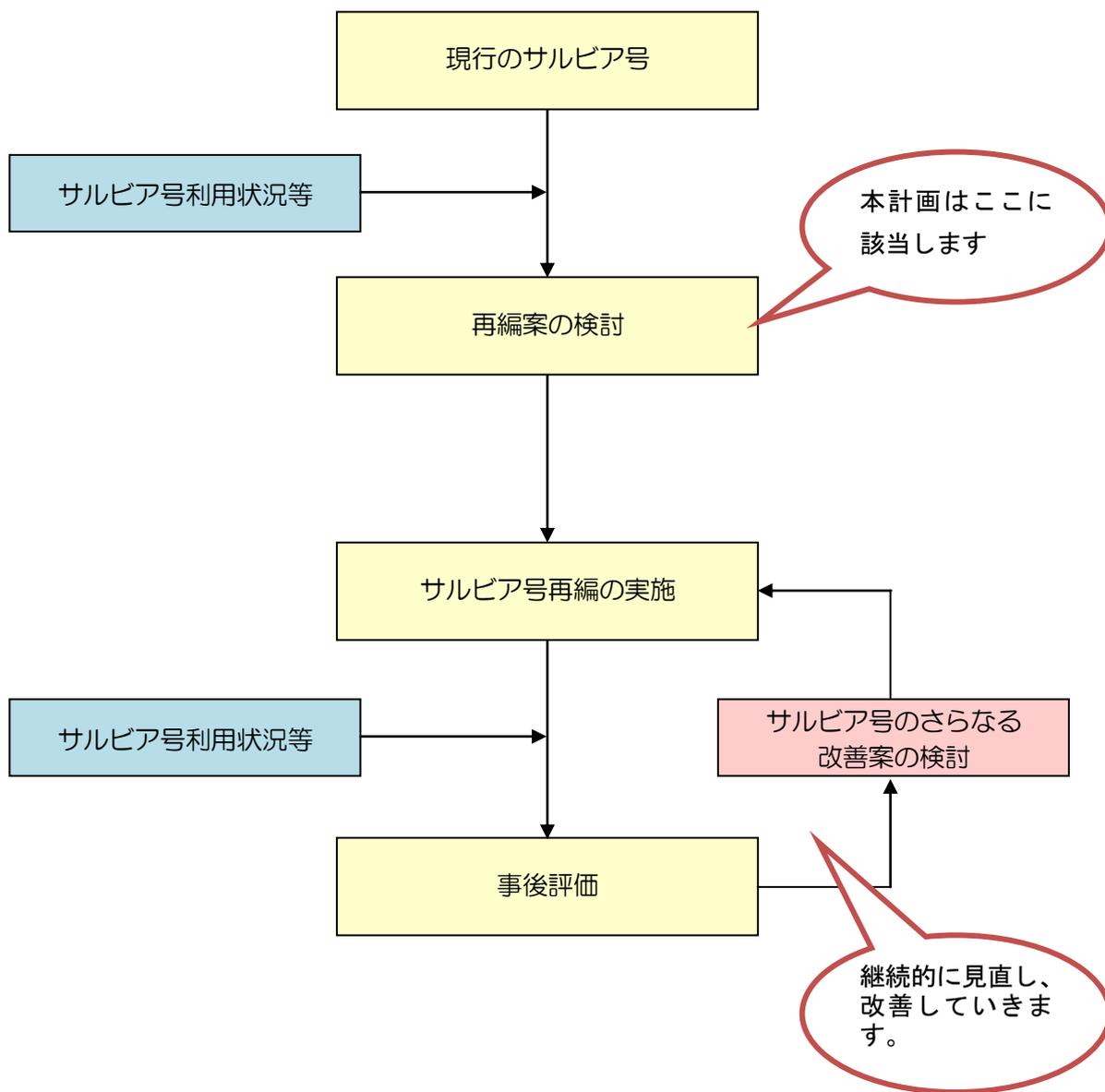
＜ 定期券等の割引運賃 ＞

区 分	対象者	運賃 (料金)
定期券	制限なし	・利用期間は申し込み月から1年間 ・期間は1ヶ月単位とし、月の途中であっても1ヶ月とする 期間 10ヶ月以上1年まで・・・4,000円 期間 9ヶ月以内・・・400円×希望月数
回数券	制限なし	11枚綴り 1,000円
無料乗車券	65歳以上の 免許自主返納者	返納した1年間無料 (無料で定期券を配布)

#### 4. 社会情勢や交通状況の変化に対応した継続的な見直し

- ・サルビア号をはじめ公共交通を取り巻く社会潮流や地域情勢は常に変化しています。
- ・これら社会潮流や地域情勢の変化に対応し、事業効果を確認しながらサルビア号を定期的に見直し、改善していきます。

##### < 継続的な見直し改善のイメージ >

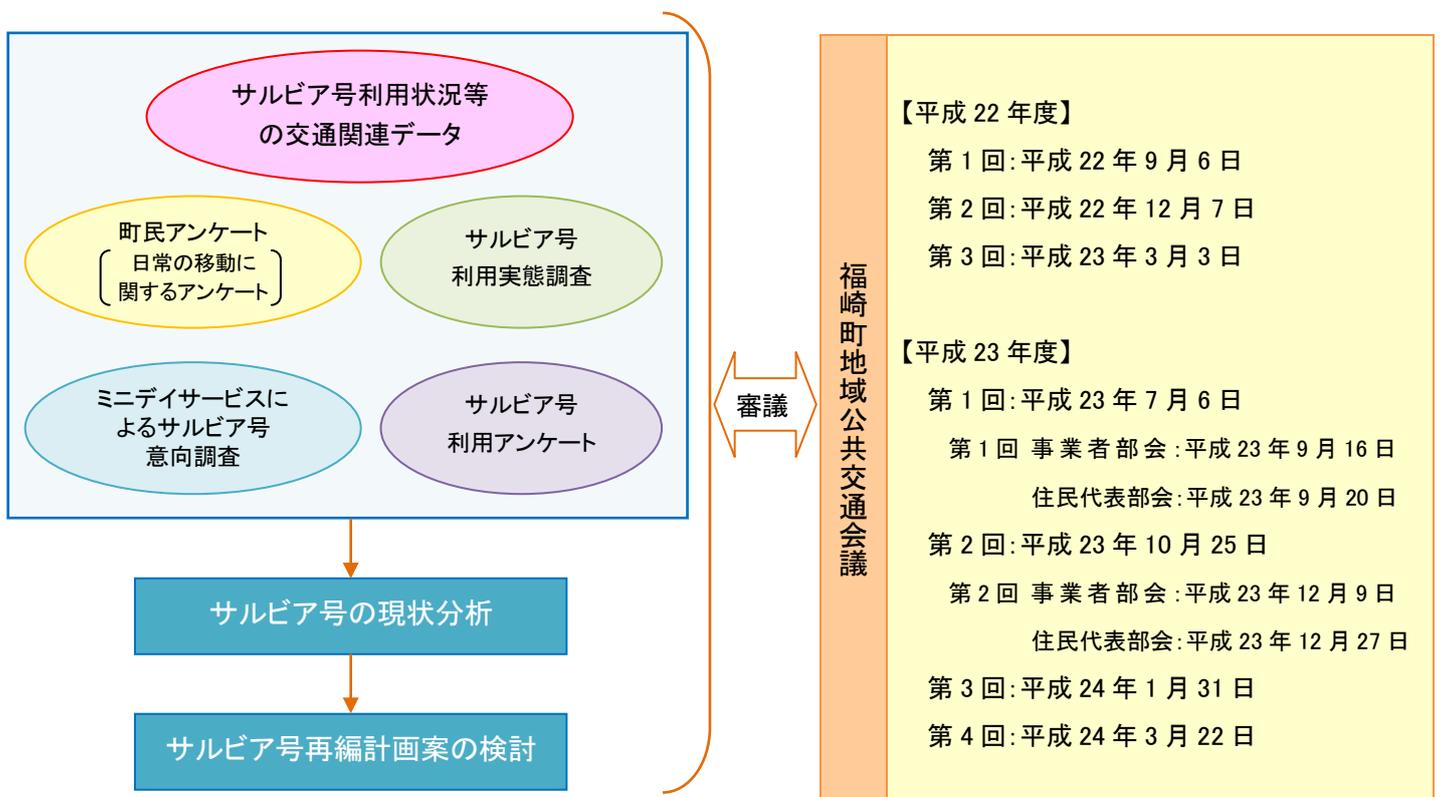


## 参考. 計画策定までの検討概要

### (1) これまでの検討の経緯

・平成 22 年度から計 7 回にわたる福崎町地域公共交通会議の審議のもと、各種アンケート調査の実施や交通関連データを収集・整理することにより、サルビア号の現状分析を行った上で、サルビア号再編計画を検討しました。

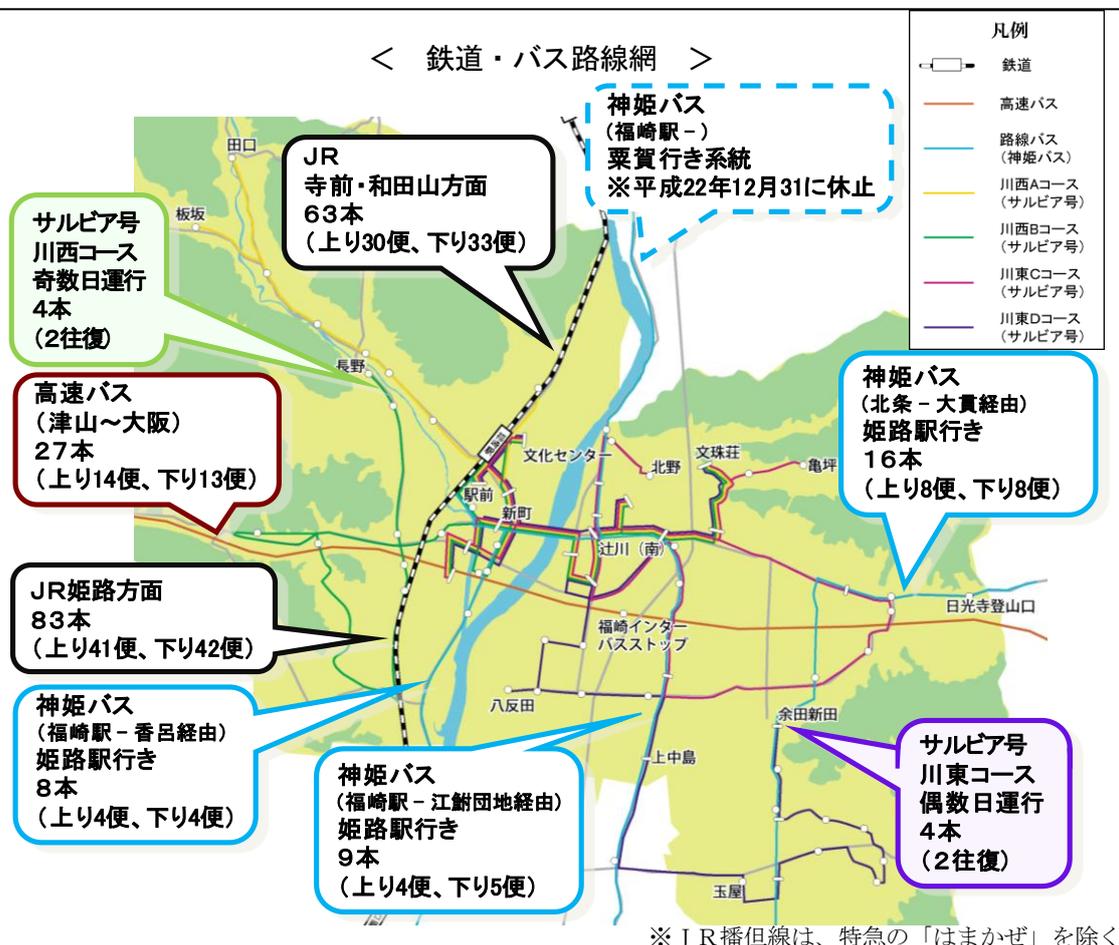
### < これまでの検討の経緯 >



## (2) 現在運行しているサルビア号の現状と課題

### ① 福崎町における公共交通網及び運行状況

・福崎町には、JR播但線、高速バス、路線バス、コミュニティ交通としてサルビア号、タクシーが運行しています。



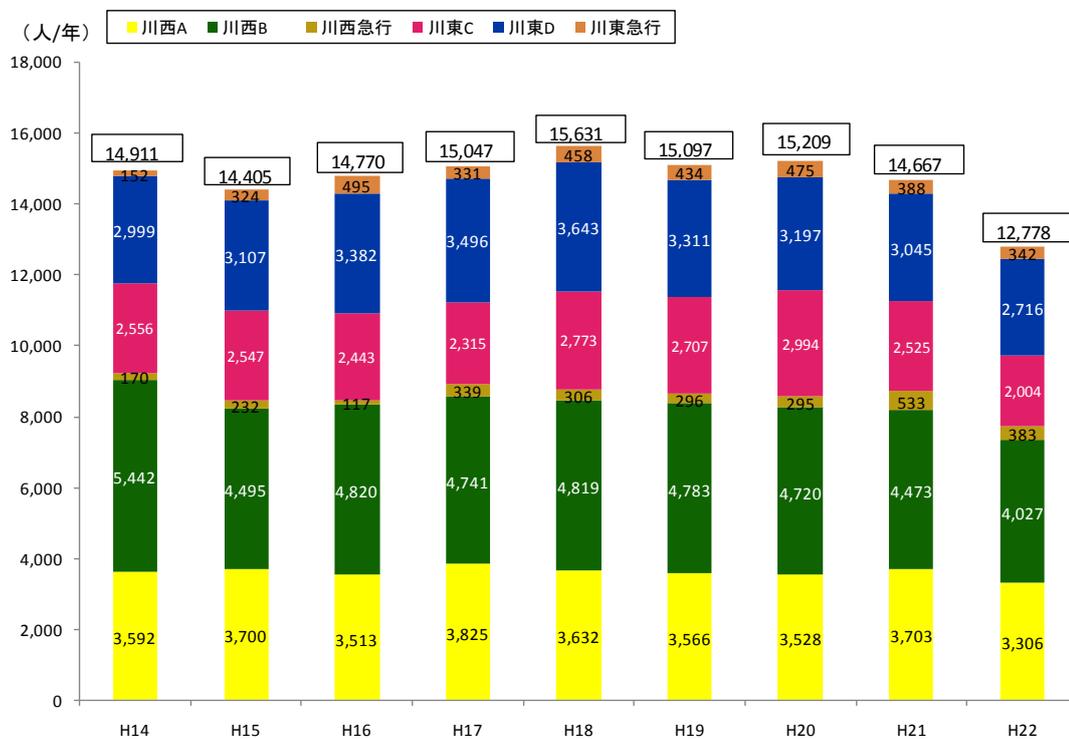
### < サルビア号の概要 >

ルート	各集落を巡回して、役場・文化センター等の公共施設をつなぐ	
運賃	無料 (誰でも乗車可能)	
運行日	隔日運行 (川西コースが奇数日、川東コースが偶数日) ※土日祝も運行、秋祭り (10月の2日間) と 12/31~1/3 は運休	
運行本数	2往復 (各コースとも午前1往復、午後1往復)	
添乗員	1名: バスの乗り降りを補助する人	

## ② サルビア号の利用状況

- ・サルビア号の乗車人員は 15,000 人前後で、ほぼ横ばい状態で推移していましたが、最近 は減少傾向となっています。
- ・1 日当たり利用者数は約 40 人と少なく、利用者が固定していると考えられます。

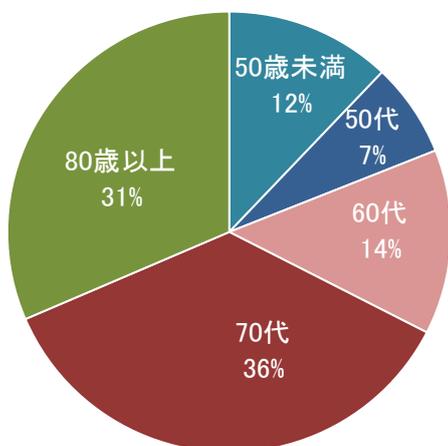
＜ サルビア号の年間乗車人員の推移 ＞



出典：福崎町所管データ

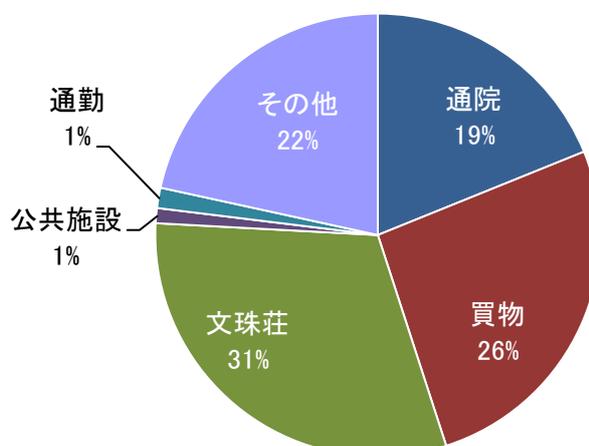
- ・サルビア号は、利用者の約 8 割が 60 歳以上の高齢者となっています。
- ・サルビア号の利用目的は文珠荘が最も多く全体の約 3 分の 1 を占めており、次いで買い物、通院目的が多くなっています。

＜ 年齢別利用状況 ＞



回答者数計のべ 2,730 人  
※不明(23人)を除く

＜ 利用目的 ＞



回答者数計のべ 1,545 人  
※不明(8人)を除く  
往き・帰りで往きと回答した人のみを示す

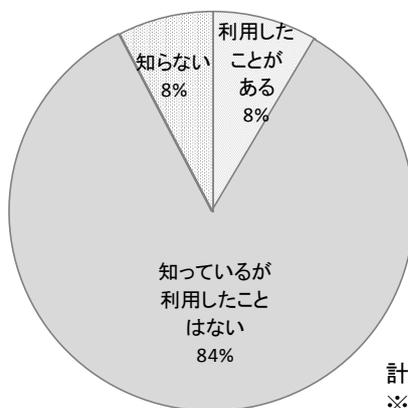
出典：サルビア号利用者実態調査結果  
(平成 23 年 6 月、9 月～10 月実施)

出典：サルビア号利用者実態調査結果  
(平成 23 年 6 月、9 月～10 月実施)

③ サルビア号の認知度及び利用経験の有無

・福崎町民の9割以上の方がサルビア号を知っていますが、利用したことがある人は1割未満と少ないです。

< サルビア号の認知度及び利用状況 >



計：16,557人  
※不明(359人)を除く

出典：住民の移動に関するアンケート（平成22年度実施）

④ サルビア号と自家用車の所要時間の比較

・サルビア号は全ての集落を運行し迂回しているため、サルビア号を利用した場合の各地区から役場周辺までの所要時間は、自家用車と比較して約2倍～5倍かかっています。

< 各地区から役場周辺までのサルビア号と自家用車の所要時間の比較 >

ルート	距離		所要時間	
	サルビア号	自家用車	サルビア号	自家用車
川西A (田口→役場)	11.1km	5.5km	30分	10分
川西B (高橋→役場)	7.2km	2.8km	25分	5分
川東C (東大貫→役場)	4.6km	3.0km	8分	5分
川東D (余田新田→役場)	9.8km	2.8km	25分	5分

※サルビア号のルートに右回り、左回りがある場合は、短い方を採用  
サルビア号の所要時間は時刻表より算出  
自家用車の所要時間は平成22年度道路交通センサスによる福崎町のピーク時平均速度が最も低かった県道三木宍粟線の33.5km/hを用いて算出

サルビア号の認知度は高いですが、利用が少ないのは、サルビア号の便数が少ないことや集落を迂回していることも原因と考えられます。